

(3) 植物の生育及び植生の状況

1) 植物相の状況

既存資料において、調査区域での確認記録のある植物はコシダ、コナギ、スダジイ、クチナシ、ノコンギク等の 185 科 2,619 種です。

当該地域に特徴的な種として、シデコブシ、ミカワバイケイソウ、シラタマホシクサ等の東海丘陵要素(東海地方の台地や丘陵地に形成された湿地に生育する種)やシライトソウ、ヒメシャラ、モチツツジ等の襲速紀要素(ソハヤキ要素：中央構造線の太平洋側に沿って北上した暖地性の植物が分布する九州中南部・四国南部・紀伊半島・東海地方に分布の中心がある種)の種が含まれています。

2) 植生の状況

環境省が実施した「第 6 回自然環境保全基礎調査植生調査」及び「第 7 回自然環境保全基礎調査植生調査」に基づく植生図を図 4-1-24 に示します。

事業実施区域及びその周囲は、奥浜名湖をとりまく山地・丘陵地となっており、果樹園やスギ・ヒノキ・サワラ植林、コナラ群落()、シイ・カシ二次林等が分布しています。事業実施区域の北側の丘陵の尾根部には、アカマツ群落()が分布します。

浜名湖に注ぐ河川周辺には水田雑草群落、浜名湖岸にはわずかにヨシクラスの植生が見られます。その他、低地部や丘陵地下部では、市街地や緑の多い住宅地、畑雑草群落が分布します。

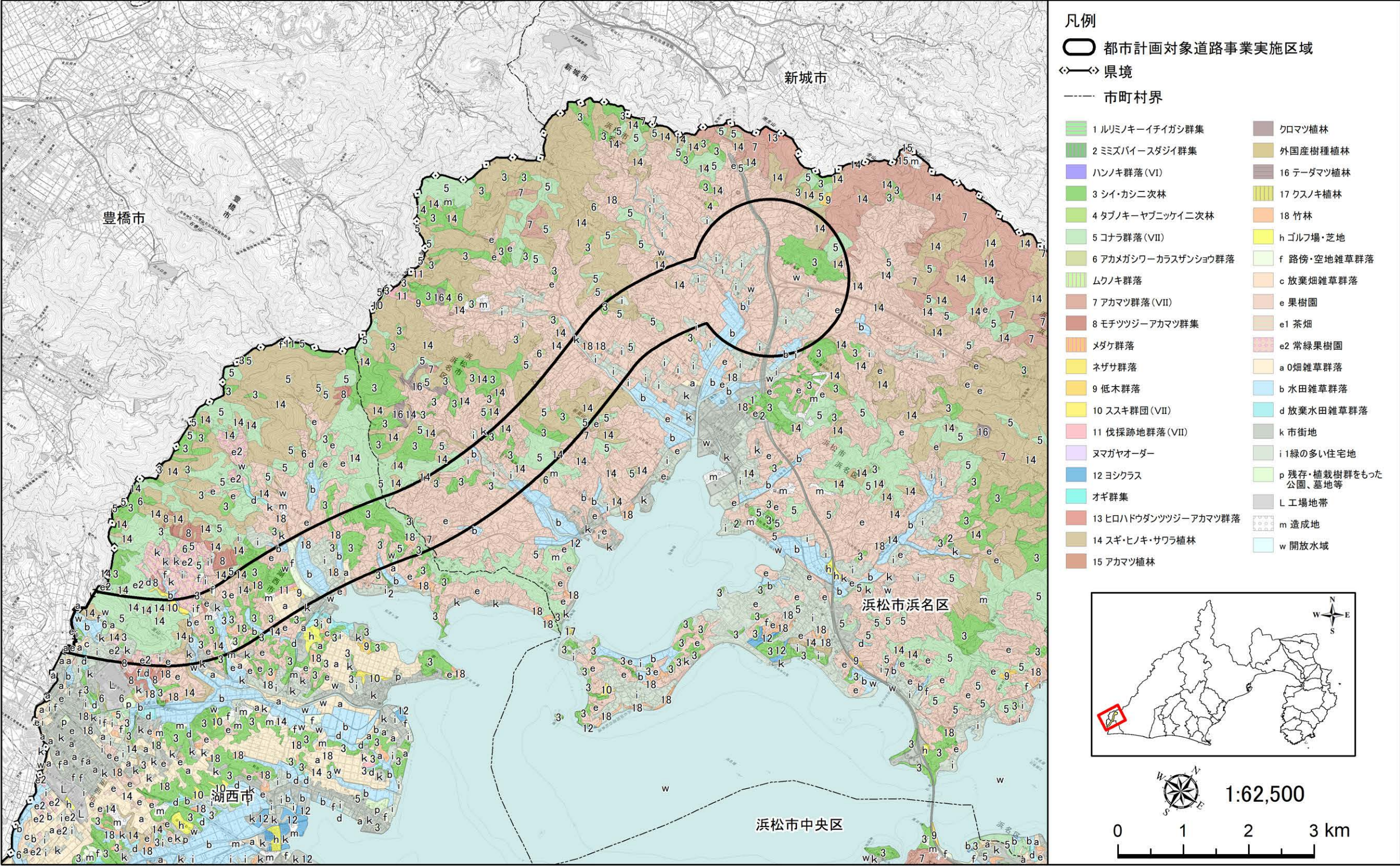


図 4-1-24 植生図

3) 植物の重要な種

植物の重要な種の選定基準を表 4-1-50(1)～(2)に示します。

調査区域において確認記録のある植物の重要な種はホテイラン、ナガバノイシモチソウ等の 126 科 638 種で、表 4-1-51(1)～(13)に示すとおりです。

なお、調査区域では詳細な位置を特定できる文献情報は得られませんでした。

表 4-1-50(1) 植物の重要な種の選定基準

植物の重要な種の選定基準		
1	「文化財保護法」(昭和 25 年法律第 214 号、最終改正：令和 3 年 4 月 23 日法律第 22 号)に基づく天然記念物及び特別天然記念物	・ 特別天然記念物(特天) ・ 天然記念物(天)
2	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年 法律第 75 号、最終改正：令和元年 6 月 14 日法律第 37 号)及び「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律施行令」(平成 5 年 政令第 17 号、最終改正：令和 2 年 12 月 16 日政令第 352 号)に基づく国内希少野生動植物種等	・ 国内希少野生動植物種(国内) ・ 緊急指定種(緊急)
3	「静岡県希少野生動植物保護条例」(平成 23 年 4 月 1 日静岡県条例第 37 号)に基づく指定希少野生動植物種	・ 県指定種(県指)
4	「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」(昭和 48 年 3 月 30 日愛知県条例第 3 号、最終改正：平成 22 年 3 月 26 日愛知県条例第 12 号)に基づく指定希少野生動植物種	・ 県指定種(県指)
5	「環境省レッドリスト 2020」(環境省、令和 2 年 3 月)の掲載種	・ EX：絶滅 ・ EW：野生絶滅 ・ CR+EN：絶滅危惧 類 ・ CR：絶滅危惧 A 類 ・ EN：絶滅危惧 B 類 ・ VU：絶滅危惧 類 ・ NT：準絶滅危惧 ・ DD：情報不足 ・ LP：絶滅のおそれのある地域個体群
6	「まもりたい静岡県の野生生物 2020 - 静岡県レッドデータブック<植物・菌類編>-」(静岡県暮らし・環境部環境局自然保護課、令和 2 年 3 月)の掲載種	・ EX：絶滅 ・ EW：野生絶滅 ・ CR+EN：絶滅危惧 類 ・ CR：絶滅危惧 A 類 ・ EN：絶滅危惧 B 類 ・ VU：絶滅危惧 類 ・ NT：準絶滅危惧 ・ DD：情報不足 ・ LP：地域個体群 要注目種：(静岡県独自のカテゴリー) ・ N- ：現状不明 ・ N- ：分布上注目種等 ・ N- ：部会注目種

表 4-1-50(2) 植物の重要な種の選定基準

植物の重要な種の選定基準		
7	「愛知県の絶滅のおそれのある野生生物レッドデータブックあいち 2020-植物編-」（愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和 2 年 3 月）の掲載種	・ EX：絶滅 ・ EW：野生絶滅 ・ CR + EN：絶滅危惧 類 ・ CR：絶滅危惧 A 類 ・ EN：絶滅危惧 B 類 ・ VU：絶滅危惧 類 ・ NT：準絶滅危惧 ・ DD：情報不足 ・ LP：地域個体群
8	「静岡県立自然公園条例」（昭和 36 年 10 月 4 日静岡県条例第 53 号、最終改正：令和元年 10 月 25 日静岡県条例第 15 号）に基づく浜名湖県立自然公園の特別地域で捕獲や採取等を規制する動植物	・ ○：静岡指定

表 4-1-51(1) 文献により確認された植物の重要な種

No.	科名	種名	重要な種の選定基準							
			1	2	3	4	5	6	7	8
1	ヒカゲノカズラ	ミズスギ								○
2		アスヒカズラ						N-	VU	
3		スギラン					VU	VU	VU	○
4		ヒモラン					EN	CR	CR	
5	イワヒバ	エゾノヒメクラマゴケ							EN	
6		イワヒバ								○
7	ミズニラ	ミズニラ					NT	VU	NT	○
8	トクサ	イヌスギナ							VU	
9	ハナヤスリ	ナガホノナツノハナワラビ							NT	
10		ハマハナヤスリ						N-		○
11		ヒロハハナヤスリ							VU	
12	マツパラン	マツパラン					NT	VU	VU	○
13	コケシノブ	コホラゴケ					NT		VU	
14		チチブホラゴケ						N-	EN	
15		オオハイホラゴケ						N-		
16	デンジソウ	デンジソウ					VU	CR	CR	○
17	サンショウモ	オオアカウキクサ					EN	VU	CR	○
18		アカウキクサ					EN	VU	CR	○
19		サンショウモ					VU	VU	CR	○
20	キジノオシダ	ヤマソテツ						CR	VU	
21	ホングウシダ	エダウチホングウシダ						N-		○
22	コバノイシカグマ	ユノミネシダ						VU		○
23		イシカグマ							NT	○
24	イノモトソウ	タキミシダ					EN	VU	EN	
25		ナカミシラン						VU	EN	
26		アイコハチジョウシダ						VU		
27		マツサカシダ							EN	
28		ナチシダ								○
29	ナヨシダ	エビラシダ							EN	
30	チャセンシダ	カミガモシダ						EN	EN	○
31		ヒノキシダ						VU	EN	
32		オクタマシダ					VU		VU	
33		イチョウシダ					NT	EN		
34		コタニワタリ						N-	EN	
35		デンリュウヌリトラノオ					VU	NT	EN	
36		アオチャセンシダ						N-		
37		ホウピシダ							VU	
38	ヒメシダ	ミヤマワラビ							NT	
39		ヒメハシゴシダ						N-		
40		テツボシダ						N-	EX	○
41		ミゾシダモドキ						N-		
42		オオバショリマ							CR	
43	イワデンダ	コガネシダ						EN	VU	
44	メシダ	テバコワラビ					VU	VU		
45		ミヤマメシダ							CR	
46		ルリデライヌワラビ						EN		
47		コヒロハシケシダ							VU	
48		ミドリワラビ						EN	CR	
49		ニセコクモウクジャク						VU	EN	○
50		ウスバミヤマノコギリシダ						N-	VU	
51		ミヤマシダ							EX	
52		コクモウクジャク							VU	

表 4-1-51(2) 文献により確認された植物の重要な種

No.	科名	種名	重要な種の選定基準							
			1	2	3	4	5	6	7	8
53	オシダ	ヒロハヤブソテツ						VU	VU	
54		ツクシヤブソテツ						VU		
55		ツクシイワヘゴ						N-	NT	○
56		タカサゴシダ					NT	N-	EN	○
57		サクライカグマ							EN	
58		ヌカイトチシダ							NT	
59		ヌカイトチシダモドキ						N-		
60		ワカナシダ							EN	
61		アツギノヌカイトチシダマガイ						VU		○
62		ヌカイトチシダマガイ						VU		○
63		タニヘゴ						VU		○
64		ナンカイイトチシダ							NT	
65		ヒロハアツイタ					VU	EN		
66		ホソイノデ							EN	
67		オリヅルシダ							EX	
68		フジイノデ						N-		
69	ウラボシ	アオネカズラ						N-		
70		ミョウギシダ					EN	EN		
71		ホテイシダ							NT	
72		クラガリシダ					EN	EN	EN	
73		コウラボシ								○
74		イシガギコウラボシ							VU	
75		イワヒトデ								○
76		オオクボシダ							NT	
77		ヒロハヒメウラボシ					CR	CR		
78		イワオモダカ							EN	
79	マツ	タカノハウラボシ						VU		
80		ウラジロモミ							NT	
81	コウヤマキ	ハリモミ							VU	
82		コウヤマキ							NT	
83	ヒノキ	ハイネズ							VU	
84		ネズミサシ							NT	
85	イチイ	イチイ							EN	
86	ジュンサイ	ジュンサイ						NT		○
87	スイレン	オニバス					VU	VU	CR	
88		コウホネ							EN	
89		ヒメコウホネ					VU	DD	CR	
90		ヒツジグサ						EN		○
91	ウマノスズクサ	オオバウマノスズクサ							VU	
92		ヒメカンアオイ								○
93		イワタカンアオイ					VU	VU	EN	○
94		ウスバサイシン						N-		
95		テンリュウカンアオイ						DD		
96	モクレン	オオヤマレンゲ						EN		
97		シデコブシ					NT		VU	
98	クスノキ	バリバリノキ						N-	VU	○
99		シロモジ						VU		
100		アオガシ						DD		
101	サトイモ	シコクヒロハテンナンショウ					EN	EN		
102		ヒトツバテンナンショウ						VU	CR	
103		ユモトマムシグサ							EN	
104		ミツバテンナンショウ						N-		
105		ヒンジモ					VU	VU		○

表 4-1-51(3) 文献により確認された植物の重要な種

No.	科名	種名	重要な種の選定基準							
			1	2	3	4	5	6	7	8
106	チシマゼキショウ	イワショウブ							VU	○
107	オモダカ	マルバオモダカ					VU	CR	EN	○
108		アギナシ					NT	VU		○
109	トチカガミ	マルミスブタ					VU	VU	VU	○
110		スブタ					VU	VU	CR	○
111		トチカガミ					NT	VU	EN	○
112		ムサシモ					EN	EN	EN	○
113		ヒロハトリゲモ					VU		VU	○
114		イトトリゲモ					NT	VU	NT	○
115		イバラモ						N-	CR	○
116		トリゲモ					VU	VU		○
117		ミズオオバコ					VU	N-		
118	シバナ	シバナ					NT	CR	NT	○
119	アマモ	コアマモ						NT		○
120	ヒルムシロ	イトモ					NT	VU	NT	○
121		ヒルムシロ							NT	
122		オヒルムシロ							VU	
123		ヒロハノエビモ						N-		
124		ツツイトモ					VU	VU		○
125		リュウノヒゲモ					NT	EN		
126		イトクズモ					VU	VU	CR	○
127	カワツルモ	カワツルモ					NT	VU	NT	○
128	ヒナノシャクジョウ	ヒナノシャクジョウ						N-	NT	○
129	ヤマノイモ	キクバドコロ							VU	
130	ホンゴウソウ	ホンゴウソウ					VU	EN		○
131	シュロソウ	シライトソウ								○
132		チャボシライトソウ					VU	EN	EN	
133		エンレイソウ							EN	
134		ミカワバイケイソウ					VU	EN	EN	○
135	ユリ	ヒロハノアマナ					VU	CR	EN	○
136		カタクリ						N-		○
137		ミノコバイモ					VU		EN	
138		コシノコバイモ						EN	CR	
139		ヒメアマナ					EN	EN		
140		キバナノアマナ						VU	EN	
141		ササユリ								○
142		スカシユリ								○
143		ホソバナノアマナ						N-	EN	
144		チャボホトトギス						VU		
145		アマナ						N-		
146	ラン	ヒナラン					EN	EN	EX	
147		イワチドリ					EN	CR	EX	
148		シラン					NT	NT	NT	○
149		マメツタラン					NT	NT		○
150		ムギラン					NT	NT		
151		ミヤマムギラン					NT	NT	NT	○
152		キソエビネ					CR	CR		
153		キエビネ					EN	CR		
154		エビネ					NT	NT	NT	○
155		キンセイラン				県指	VU	CR	CR	
156		ナツエビネ					VU	VU	VU	○
157		ホテイラン			県指		EN	CR		
158		ギンラン						N-		○

表 4-1-51(4) 文献により確認された植物の重要な種

No.	科名	種名	重要な種の選定基準							
			1	2	3	4	5	6	7	8
159	(ラン)	キンラン					VU	NT	NT	○
160		ササバギンラン							NT	
161		ユウシュンラン					VU	EN	VU	
162		シュンラン								○
163		マヤラン					VU	EN	CR	
164		ナギラン					VU	VU	CR	○
165		コアツモリソウ					NT	VU	EN	
166		クマガイソウ					VU	VU	VU	○
167		イチヨウラン						VU	NT	
168		セッコク						NT	NT	
169		サワラン						CR	CR	○
170		ハコネラン					VU	EN		
171		コイチヨウラン							VU	
172		カキラン								○
173		タシロラン					NT	NT	NT	○
174		カモメラン					NT	EN		
175		カシノキラン					VU	EN	CR	
176		マツラン					VU	VU	EN	
177		モミラン					VU	VU		
178		アキザキヤツシロラン							VU	○
179		ナヨテンマ					EN	EN	CR	
180		ハルザキヤツシロラン					VU	VU		○
181		クロヤツシロラン						NT		○
182		ベニシュスラン						N-	VU	
183		アケボノシュスラン						N-		○
184		ヒロハツリシュスラン					EN	EN		
185		ミヤマウズラ								○
186		シュスラン						N-	VU	○
187		ダイサギソウ					EN	EN		
188		オオミズトンボ					EN	EN	EX	
189		ミズトンボ					VU	VU	VU	○
190		ムカゴソウ					EN	VU	EX	
191		ムヨウラン								○
192		ウスキムヨウラン					NT	NT	VU	○
193		クロムヨウラン							VU	○
194		エンシュウムヨウラン						VU		
195		セイトカスズムシソウ						EN	EN	
196		ジガバチソウ								○
197		クモキリソウ								○
198		スズムシソウ						VU	CR	
199		コ克蘭								○
200		クモイジガバチ					CR	CR		
201		ホザキイチヨウラン						N-		
202		アリドオシラン						N-		
203		フウラン					VU	VU	EN	
204		ノビネチドリ						N-	EN	
205		コフタバラン							VU	
206		ヒメフタバラン						N-		○
207		アオフタバラン						N-		
208		ムカゴサイシン					EN	CR		
209		ヨウラクラン								○
210		コハ克蘭		国内			CR	N-		
211		サギソウ					NT	VU	VU	○

表 4-1-51(5) 文献により確認された植物の重要な種

No.	科名	種名	重要な種の選定基準							
			1	2	3	4	5	6	7	8
212	(ラン)	ムカデラン					VU	VU	EN	
213		ムカゴトンボ					EN	CR	EX	
214		ガンゼキラン					VU	CR		
215		イイヌママムカゴ					EN	EN	EN	
216		ツレサギソウ						VU	CR	
217		ヤマサギソウ							VU	○
218		タカネサギソウ						N-		
219		コバノトンボソウ								○
220		オオヤマサギソウ						VU	VU	
221		トンボソウ								○
222		トキソウ					NT	EN	EN	○
223		ヤマトキソウ						VU	VU	○
224		ヒナチドリ					VU	EN		
225		ウチョウラン					VU	VU	EN	
226		ニョボウチドリ					NT	VU		
227		クモラン								○
228		カヤラン								○
229		ヒトツボクロ						N-		○
230		キバナノショウキラン					EN	VU		
231		カゲロウラン					NT	VU		○
232	アヤメ	ヒオウギ							EN	○
233		ノハナショウブ								○
234		ヒメシャガ					NT	EN		
235		カキツバタ					NT	VU	VU	○
236	ススキノキ	ユウスゲ								○
237		ゼンテイカ							EN	
238		ハマカンゾウ								○
239	ヒガンバナ	ステゴビル					VU	EN	EN	○
240		ヒメニラ						N-	NT	
241		オオキツネノカミソリ						N-		
242	クサスギカズラ	ウラジロギボウシ				県指	EN	DD	CR	
243		アキギボウシ							VU	
244		ミズギボウシ								○
245		マイヅルソウ							NT	
246		ワニグチソウ							EN	
247	ツユクサ	マルバツユクサ								○
248	ミズアオイ	ミズアオイ					NT	VU	CR	○
249	ガマ	ミクリ					NT	NT	EN	○
250		オオミクリ					VU	VU		○
251		ヤマトミクリ					NT	VU	VU	
252		ナガエミクリ					NT	NT		○
253		ヒメミクリ					VU	VU	CR	○
254	ホシクサ	クロイヌノヒゲ					NT	NT		
255		ゴマシオホシクサ					EN	EN		
256		シラタマホシクサ					VU	VU	VU	○
257		クロホシクサ					VU	EN	EN	○
258	イグサ	イヌイ						N-	CR	
259	カヤツリグサ	コウキヤガラ						N-		○
260		イトテンツキ					NT	VU	NT	
261		トダスゲ					CR	EN	EX	
262		ハリガネスゲ						VU		○
263		ヤマアゼスゲ						N-		
264		ホソバヒカゲスゲ						VU		○

表 4-1-51(6) 文献により確認された植物の重要な種

No.	科名	種名	重要な種の選定基準							
			1	2	3	4	5	6	7	8
265	(カヤツリグサ)	サワヒメスゲ						VU		○
266		キシウナキリスゲ					VU	VU	NT	○
267		タカネマスキサ							EN	
268		ヒメモエギスゲ							VU	
269		オオクグ					NT	EN		○
270		ジングウスゲ					NT	VU	NT	○
271		ニシノホンモンジスゲ						N-	VU	
272		アオヒエスゲ							VU	
273		ヒメアオガヤツリ						N-	CR	
274		ヌマガヤツリ							NT	
275		シロガヤツリ						N-		○
276		ヒメガヤツリ							VU	
277		カガシラ					VU	VU	CR	○
278		セイタカハリイ							VU	
279		マシカクイ						N-	VU	○
280		クグテンツキ							VU	
281		イッスンテンツキ					CR	CR	CR	○
282		ナガボテンツキ							CR	
283		ピロードテンツキ							VU	
284		トネテンツキ					VU	EN	VU	
285		トラノハナヒゲ							EN	
286		オオイヌノハナヒゲ							VU	
287		ミクリガヤ					EN	EN	CR	○
288		ハタベカンガレイ					VU	VU	CR	
289		台湾ヤマイ						N-		
290		ノグサ							EN	
291		コマツカサススキ						N-		○
292		マツカサススキ						N-		
293		ミカワシンジュガヤ					VU	EN	VU	○
294		コシンジュガヤ							VU	
295		ケシンジュガヤ						N-		
296	イネ	ヒロハノハネガヤ							VU	
297		ヒメコヌカグサ					NT	NT		○
298		ミギワトダシバ					VU	VU		
299		コウヤザサ						N-		○
300		ヒナザサ					NT	VU	VU	
301		コゴメカゼクサ							VU	
302		ウンヌケモドキ					NT	VU	VU	○
303		ウンヌケ					VU	VU	NT	○
304		オオトボシガラ						N-		
305		アズマガヤ						VU		
306		カモノハシ							VU	
307		ナリヒラダケ							VU	
308		ハマエノコロ							NT	
309		ヒゲシバ							VU	
310		オニシバ							NT	
311	ケシ	ツルケマン						EN		
312		ヤマキケマン						N-	EN	
313	ツヅラフジ	ハスノハカズラ						N-		○
314	メギ	ヒロハヘビノボラス						EN		
315		ルイヨウボタン							VU	
316		イカリソウ							VU	○

表 4-1-51(7) 文献により確認された植物の重要な種

No.	科名	種名	重要な種の選定基準							
			1	2	3	4	5	6	7	8
317	キンボウゲ	ヤマトリカブト							EN	
318		キタザワブシ					VU	N-		
319		ルイヨウショウマ							EN	
320		フクジュソウ						VU		
321		イチリンソウ						N-		
322		キクザキイチゲ						N-		
323		アズマイチゲ						N-	NT	
324		レンゲショウマ						N-	EN	
325		フジセンニンソウ							VU	
326		カザグルマ					NT	VU	EN	○
327		クサボタン							VU	
328		ハコネシロカネソウ					NT	VU		
329		セツブンソウ					NT	VU	VU	
330		ミスミソウ					NT	VU	NT	○
331		オキナグサ					VU	EN	CR	○
332		シギンカラマツ							NT	
333		ヒメカラマツ						N-		
334		オオカラマツ						N-		
335		タマカラマツ					VU	VU	CR	
336	アワブキ	ヤマビワ							EN	
337	ヤマモガシ	ヤマモガシ							VU	
338	ツゲ	ツゲ						N-	VU	○
339	ボタン	ヤマシャクヤク					NT	NT	VU	
340		ベニバナヤマシャクヤク					VU	CR	EN	○
341	マンサク	コウヤミズキ						VU		○
342		マンサク								○
343		トキワマンサク					EN	EN		○
344	スグリ	ヤシャビシャク					NT	VU	EN	
345		ヤブサンザシ						VU	VU	
346	ユキノシタ	キバナハナネコノメ					NT	NT	NT	
347		ツルネコノメソウ							VU	
348		ミカワチャルメルソウ						N-		
349	ベンケイソウ	ツメレンゲ					NT	NT	NT	
350		マツノハマンネングサ					VU	VU		
351		アズマツメクサ					NT	N-		
352	タコノアシ	タコノアシ					NT	NT	NT	
353	アリノトウグサ	タチモ					NT	EN	NT	○
354		フサモ						N-		
355	マメ	モメンヅル						N-		
356		ハマナタマメ							EN	
357		シバハギ							CR	
358		ミヤマトベラ						VU	EN	
359		サイカチ							VU	
360		オオバヌスビトハギ							VU	
361		イタチササゲ							VU	
362		レンリソウ						VU	VU	
363		イヌハギ					VU	EN	VU	○
364		マキエハギ								○
365		ミソナオシ							VU	
366		ノハラクサフジ							EN	
367		ヨツバハギ							VU	
368		オオバクサフジ							NT	
369	ヒメハギ	ヒナノカンザシ						VU		○

表 4-1-51(8) 文献により確認された植物の重要な種

No.	科名	種名	重要な種の選定基準							
			1	2	3	4	5	6	7	8
370	グミ	アリマグミ							VU	○
371	クロウメモドキ	ケンボナシ							EN	
372	アサ	コバノチョウセンエノキ						EN	EN	
373		カラハナソウ						N-		
374	クワ	カジノキ							EN	
375	イラクサ	ヤナギイチゴ							NT	
376	バラ	ヤマブキショウマ							VU	
377		ミヤマザクラ							NT	
378		シモツケソウ							EN	
379		イワキンバイ							VU	
380		ヒロハノカワラサイコ					VU	N-	CR	
381		ミヤコイバラ								○
382		ミヤマモミジイチゴ					NT	N-		
383		ミヤマワレモコウ						VU	EN	
384		ナガボノワレモコウ						N-		
385		アイズシモツケ							EN	
386		イワシモツケ							CR	
387	ブナ	ナラガシワ							EN	
388	カバノキ	サクラバハシノキ					NT	NT		○
389		ウダイカンバ							VU	
390		オノオレカンバ							VU	
391	ニシキギ	ウメバチソウ								○
392	カタバミ	コミヤマカタバミ							NT	
393		ミヤマカタバミ							NT	
394	ホルトノキ	ホルトノキ							VU	
395	トウダイグサ	ノウルシ					NT	VU		○
396	コミカンソウ	ヒトツバハギ						EN		○
397	ヤナギ	キヌヤナギ							NT	
398	スミレ	アリアケスミレ								○
399		ナガバノスミレサイシン								○
400		ヒゴスミレ						N-		
401		エイザンスミレ								○
402		サクラスミレ						VU	NT	
403		ヒメスミレ								○
404		コスミレ								○
405		マルバースミレ								○
406		スミレ								○
407		ニオイタチツボスミレ								○
408		キスミレ						VU	CR	○
409		ナガバタチツボスミレ								○
410		シロスミレ							CR	
411		アカネスミレ								○
412		オカスミレ								○
413		ミヤマスミレ						EN		
414		フモトスミレ								○
415		フジスミレ						N-		
416		マキノスミレ								○
417		シハイスミレ								○
418		ノジスミレ								○
419	オトギリソウ	コオトギリ						NT		
420		アゼオトギリ					EN	EN	EN	
421	フウロソウ	イヨフウロ					NT	N-		
422		ミツバフウロ							EN	

表 4-1-51(9) 文献により確認された植物の重要な種

No.	科名	種名	重要な種の選定基準							
			1	2	3	4	5	6	7	8
423	ミソハギ	ヒメミソハギ							NT	
424		ミズスギナ					CR	DD	EX	
425		ミズマツバ					VU	NT		○
426		ミズキカシグサ					VU	EN	VU	○
427		ヒメビシ					VU	EN	EN	○
428	アカバナ	ウスゲチョウジタデ					NT	NT		
429	ムクロジ	ホソエカエデ							VU	
430		カジカエデ							NT	
431		ハウチワカエデ							VU	
432	アオイ	ハマボウ							VU	○
433	ジンチョウゲ	コショウノキ								○
434		チョウセンナニワズ					VU	VU		
435		ガンビ								○
436	アブラナ	カンラン					EN	CR	CR	
437		コンロンソウ							EN	
438		ミズタガラシ							NT	
439		エゾハタザオ						VU		
440	ツチトリモチ	ミヤマツチトリモチ					VU	VU	CR	
441	タデ	オオツルイタドリ							CR	
442		サイコクヌカボ					VU	VU	NT	
443		ヤナギヌカボ					VU	NT		○
444		ナガバノウナギツカミ					NT	N-	NT	
445		ヌカボタデ					VU	VU	VU	○
446		オオミソソバ							NT	
447		コギシギシ					VU	EN		○
448		マダイオウ							EN	
449	モウセンゴケ	ナガバノイシモチソウ				県指	VU	EN	CR	○
450		シロバナナガバノイシモチソウ				県指			CR	
451		イシモチソウ					NT	VU	EN	○
452		モウセンゴケ								○
453		コモウセンゴケ								○
454		トウカイコモウセンゴケ								○
455	ナデシコ	オオヤマフスマ							VU	
456		ヒゲネワチガイソウ						N-	EN	
457		オオビランジ					NT	VU		
458	ヒユ	ホソバハマアカザ						N-		
459		マルバアカザ							NT	
460		カワラアカザ							NT	
461		ミドリアカザ					CR	N-		
462		イワアカザ					CR		CR	
463	アジサイ	ビロードノリウツギ							VU	
464		バイカアマチャ							NT	
465	ツリフネソウ	エンシュウツリフネソウ					EN	VU		
466	カキノキ	トキワガキ								○
467	サクラソウ	オオツルコウジ					EN	EN	DD	
468		クリンソウ						EN	NT	
469		コイワザクラ					VU	VU		
470		シナノコザクラ					NT	VU		
471	ハイノキ	クロミノニシゴリ						NT		○
472		カンザブドウノキ							VU	○
473	イワウメ	ヤマイワカガミ								○
474		イワウチワ						N-		

表 4-1-51(10) 文献により確認された植物の重要な種

No.	科名	種名	重要な種の選定基準							
			1	2	3	4	5	6	7	8
475	ツツジ	サラサドウダン							NT	
476		カイナンサラサドウダン						VU		
477		シャクジョウソウ							NT	○
478		ハナヒリノキ							VU	
479		ギンリョウソウモドキ								○
480		ギンリョウソウ								○
481		ベニバナイチヤクソウ							CR	
482		ミツバツツジ								○
483		サツキ								○
484		ヤマツツジ								○
485		モチツツジ								○
486		ホソバシャクナゲ					VU	NT	VU	
487		コバナミツバツツジ								○
488		ジングウツツジ					VU	VU	EN	
489		オオヤマツツジ						VU		○
490		ナガボナツハゼ				県指	CR	EN	CR	○
491	アカネ	ナガバジュズネノキ						VU	EN	○
492		キクムグラ							NT	
493		ルリミノキ							NT	○
494		ヒロハコンロンカ						N-		
495		イナモリソウ						N-		○
496		オオキヌタソウ							EN	
497	リンドウ	リンドウ								○
498		コケリンドウ							VU	
499		ハレリンドウ								○
500		ホソバノツルリンドウ						VU		
501		センブリ								○
502		ムラサキセンブリ					NT	VU	VU	○
503		イヌセンブリ					VU	NT	NT	○
504	マチン	ヒメナエ					VU	VU	CR	○
505	キョウチクトウ	コイケマ							NT	
506		シタキシソウ							VU	○
507		キジョラン								○
508		クサタチバナ					NT	EN	CR	
509		フナバラソウ					VU	N-	EN	○
510		クサナギオゴケ					VU	NT	NT	○
511		タチガシワ							CR	
512		スズサイコ					NT	NT		○
513	ヒルガオ	マメダオシ					CR	N-	EX	
514	ナス	ヤマホオズキ					EN	EN	VU	
515		アオホオズキ					VU	NT	VU	
516	ムラサキ	ホタルカズラ							EN	
517		ムラサキ					EN	EN	EX	○
518		ミズタビラコ							NT	
519	モクセイ	ミヤマアオダモ							VU	
520		トネリコ						N-	EN	
521		ハシドイ						VU	NT	
522	オオバコ	マルバナサワトウガラシ					VU	EN	NT	○
523		オオアブノメ					VU	VU	VU	○
524		トウオオバコ							EN	
525		ハマクワガタ					VU	N-		
526		イヌノフグリ					VU	NT		○
527		カワヂシャ					NT			

表 4-1-51(11) 文献により確認された植物の重要な種

No.	科名	種名	重要な種の選定基準							
			1	2	3	4	5	6	7	8
528	ゴマノハグサ	サツキヒナノウスツボ						N-		
529	シソ	タチキランソウ					NT	NT		○
530		タニジャコウソウ					NT		EN	
531		ジャコウソウ							VU	
532		アシタカジャコウソウ						N-	EN	
533		セキヤノアキチョウジ								○
534		オドリコソウ								○
535		キセワタ					VU	EN	CR	
536		マネキグサ					NT	NT		○
537		ラショウモンカズラ						VU		
538		ヤマジソ					NT	VU	VU	○
539		ミズネコノオ					NT	EN	VU	○
540		ミズトラノオ					VU	EN	VU	○
541		シマジタムラソウ					VU	VU	NT	○
542		ミゾコウジュ					NT	NT		○
543		ヤマジノタツナミソウ						VU		
544		ヒメナミキ						VU	NT	○
545		コバノタツナミ								○
546		シソバタツナミ						N-		
547		ホナガタツナミソウ								○
548		イブキジャコウソウ							CR	
549		カリガネソウ						NT		○
550	ハエドクソウ	スズメノハコベ					VU	VU	NT	○
551	ハマウツボ	オオナンバンギセル							EX	
552		ゴマクサ					VU	EN	VU	○
553		イズコゴメグサ					EN	VU	EX	○
554		シコクママコナ								○
555		クチナシグサ								○
556		ハマウツボ					VU	VU	CR	○
557		ミカワシオガマ					VU	EX	EN	
558		シオガマガク							EN	
559		キヨスミウツボ						N-	VU	
560		センリゴマ					CR			
561		ヒキヨモギ						N-	NT	
562		オオヒキヨモギ					VU	NT		○
563	タヌキモ	ノタヌキモ					VU	VU	VU	○
564		イヌタヌキモ					NT	VU		
565		ミミカキグサ								○
566		ホザキノミミカキグサ								○
567		フサタヌキモ					EN	CR	EX	○
568		ミカワタヌキモ					VU	EN	EN	○
569		タヌキモ					NT	VU		
570		ヒメタヌキモ					NT	EN	EN	○
571		ヒメミミカキグサ					EN	EN	EN	○
572		ムラサキミミカキグサ					NT	VU	NT	○
573	モチノキ	ナナミノキ							VU	
574	キキョウ	ソバナ							NT	
575		イワシャジン						N-	VU	
576		シデシャジン						N-		○
577		ツルギキョウ					VU	VU		○
578		シブカワニンジン						N-		
579		ハアソブ					VU	VU	EX	○
580		サワギキョウ						NT		○

表 4-1-51(12) 文献により確認された植物の重要な種

No.	科名	種名	重要な種の選定基準							
			1	2	3	4	5	6	7	8
581	(キキョウ)	キキョウ					VU	VU	VU	○
582	ミツガシワ	ヒメシロアサザ					VU	EN	EN	○
583		ガガブタ					NT	VU	NT	○
584	キク	エンシュウハグマ								○
585		ヒメヨモギ							CR	
586		ヒメシオン							VU	
587		ヤマジノギク							CR	○
588		ヤナギノギク					VU	VU	VU	
589		シブカワシロギク					EN	VU		○
590		オオガンクビソウ							EN	
591		イソギク							CR	○
592		フジアザミ							EX	
593		ワタムキアザミ					VU	NT		
594		イズハハコ					VU	NT	VU	○
595		フジバカマ					NT	VU	EN	
596		スイラン								○
597		ミズギク						N-	NT	○
598		カセンソウ							EN	
599		ホソバニガナ					EN	VU		
600		クモマニガナ						VU		
601		タカサゴソウ					VU	VU		
602		ノニガナ						N-		
603		カワラニガナ					NT	NT		
604		ミコシギク					VU	CR	CR	○
605		オタカラコウ								○
606		ハンカイソウ								○
607		ネコノシタ							NT	○
608		ミヤマコウモリソウ							VU	
609		オクヤマコウモリ							EN	
610		アキノハハコグサ					EN	VU	EN	
611		ホクチアザミ						N-	VU	
612		ミヤコアザミ							VU	
613		ネコヤマヒゴタイ					VU	EN		○
614		ヒメヒゴタイ					VU	EN	EX	○
615		ヤハズトウヒレン						VU		
616		キクアザミ							EN	
617		アオヤギバナ							VU	
618		サワオグルマ								○
619		タカネコウリンカ					NT	NT		
620		ウラギク					NT	VU		○
621	セリ	イワニンジン							VU	
622		ミシマサイコ					VU	VU	EN	○
623		ホタルサイコ							EX	
624		ドクゼリ						N-		○
625		ハマボウフウ								○
626		イブキボウフウ							VU	
627		カワラボウフウ						N-		
628		フキヤミツバ					VU	EN	CR	○
629		ヌマゼリ					VU		EX	○
630	ガマズミ	レンブクソウ						N-		
631		ミヤマシグレ							EN	
632	スイカズラ	ベニバナノツクバネウツギ							NT	
633		ナベナ						N-	VU	

表 4-1-51(13) 文献により確認された植物の重要な種

No.	科名	種名	重要な種の選定基準							
			1	2	3	4	5	6	7	8
634	(スイカズラ)	キダチニンドウ							VU	○
635		ヤマヒョウタンボク						N-		○
636		キンレイカ							DD	
637		マツムシソウ							NT	○
638		イワツクバネウツギ					VU	EN	EN	
計	126 科	638 種	0 種	1 種	1 種	5 種	236 種	385 種	383 種	266 種

注1) 種名及び配列は主に「令和3年度河川水辺の国勢調査((公)リバーフロント研究所、令和3年)」に準拠した。

注2) 重要な種の選定基準の根拠資料番号は表4-1-50に示すとおりである。

4) 重要な植物群落等

特定植物群落

「第2回自然環境保全基礎調査日本の重要な植物群落の分布」(昭和57年、環境庁)、「第3回自然環境保全基礎調査自然環境情報図」(平成元年、環境庁)及び「第5回自然環境保全基礎調査特定植物群落調査報告書」(平成12年、環境庁)によると、調査区域では、特定植物群落として表4-1-52に示すとおり、浜松市で「尾奈のマンサク群落」等の2件、湖西市で「多米峠の照葉樹林」の1件が確認されています。確認位置は図4-1-25に示すとおりです。

事業実施区域においては、特定植物群落は存在しません。

表4-1-52 特定植物群落

No.	市	調査回	名称	選定基準	相観区分	面積(ha)
1	浜松市	2	尾奈のマンサク群落	C,H	個体群	0.5
2		2	本坂峠の照葉樹林	A	暖温帯常緑広葉高木林	10.0
3	湖西市	3	多米峠の照葉樹林	E	暖温帯常緑広葉高木林	7.0

注1) 選定基準は以下のとおりである。

A: 原生林もしくはそれに近い自然林

B: 国内若干地域に分布するが、極めて稀な植物群落又は個体群

C: 比較的普通に見られるものであっても、南限、北限、隔離分布等分布限界になる産地に見られる植物群落又は個体群

D: 砂丘、断崖地、塩沼地、湖沼、河川、湿地、高山、石灰岩地等の特殊な立地に特有な植物群落又は個体群で、その群落の特徴が典型的なもの

E: 郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの

F: 過去において人工的に植栽されたことが明らかな森林であっても、長期にわたって伐採等の手が入っていないもの

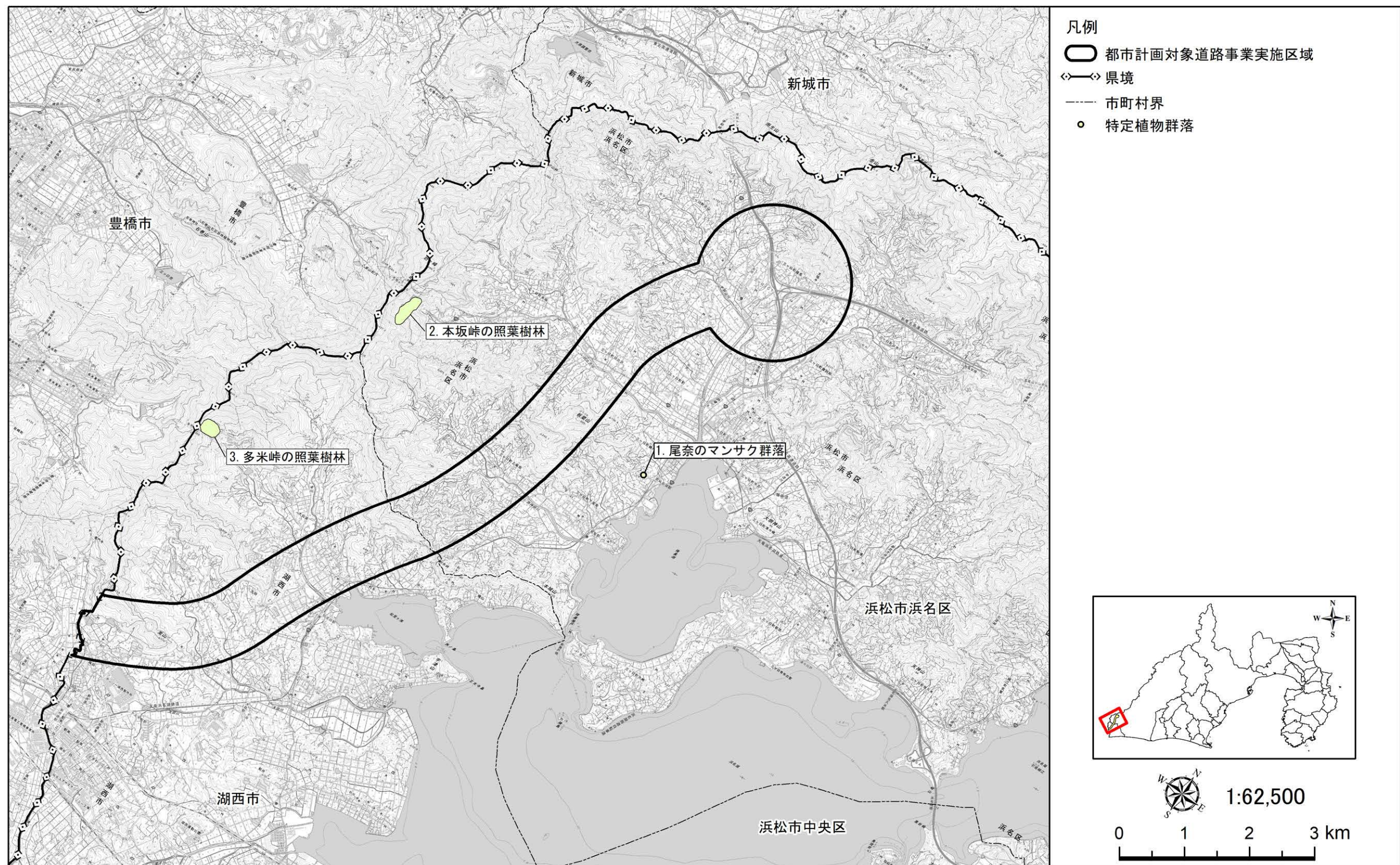
G: 乱獲その他の人為の影響によって、当該都道府県内で極端に少なくなるおそれのある植物群落又は個体群

H: その他、学術上重要な植物群落又は個体群

出典: 「第2回自然環境保全基礎調査日本の重要な植物群落の分布」(昭和57年、環境庁)

「第3回自然環境保全基礎調査自然環境情報図」(平成元年、環境庁)

「第5回自然環境保全基礎調査特定植物群落調査報告書」(平成12年、環境庁)



出典：「第2回自然環境保全基礎調査日本の重要な植物群落の分布」(昭和57年、環境庁)
「第3回自然環境保全基礎調査自然環境情報図」(平成元年、環境庁)
「第5回自然環境保全基礎調査特定植物群落調査報告書」(平成12年、環境庁)

図 4-1-25 特定植物群落

巨樹・巨木林

「第4回自然環境保全基礎調査自然環境情報図」(平成7年、環境庁)、「第6回自然環境保全基礎調査巨樹・巨木林フォローアップ調査報告書」(平成13年3月、環境省自然環境局生物多様性センター)によると、調査区域では、巨樹・巨木林として表4-1-53に示す22件が確認されています。確認位置は図4-1-26に示すとおりです。

事業実施区域においては、「No.1 三ヶ日福長のイチョウ」「No.5 スギ」「No.6 スダジイ」「No.7 スダジイ」の4件の巨樹・巨木林が存在します。

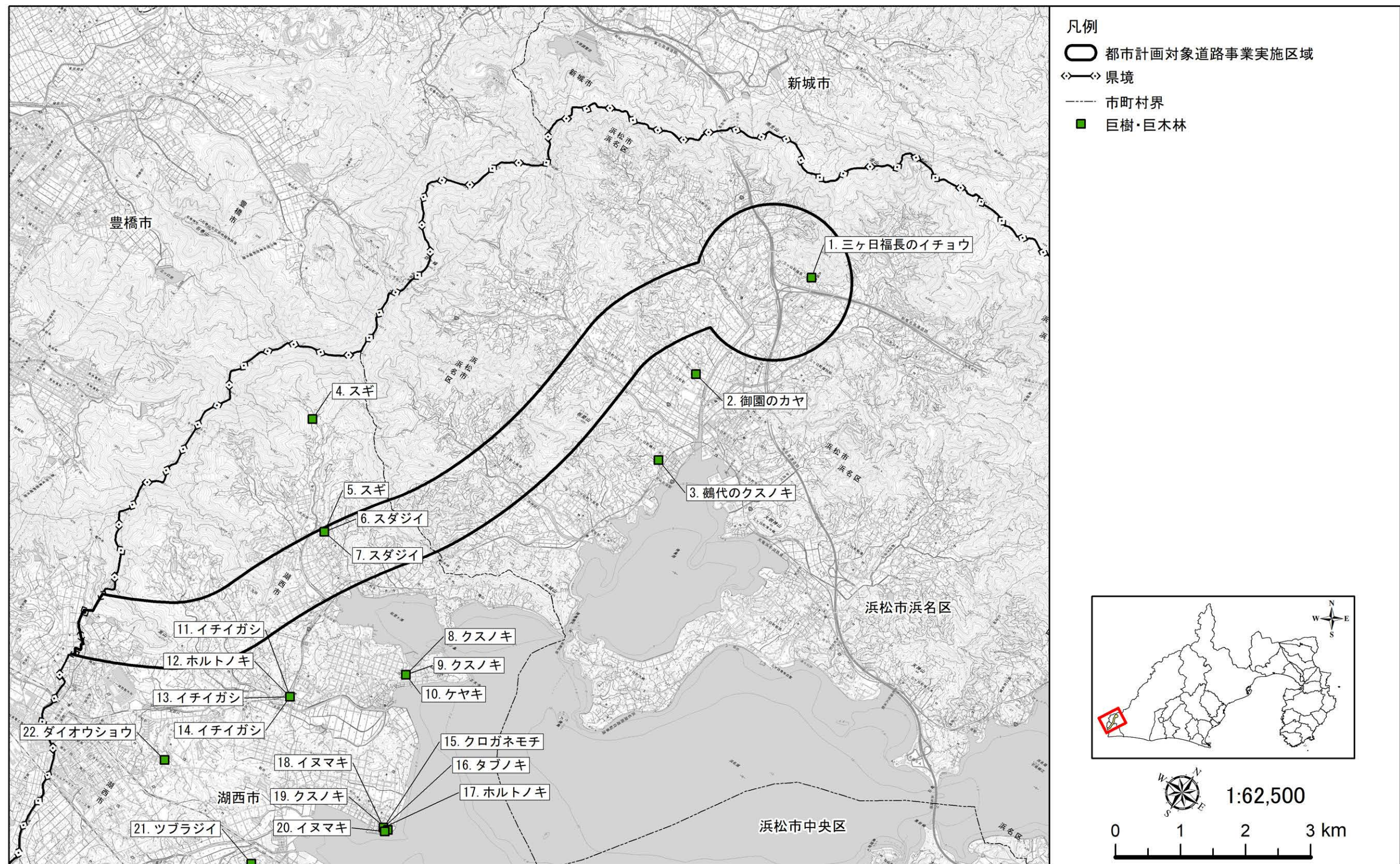
表 4-1-53 巨樹・巨木林

No.	所在地	名称	樹種	幹周 (cm)	樹高 (m)
1	浜松市	三ヶ日福長	イチョウ	360	35
2		御園	カヤ	440	15
3		鶴代	クスノキ	440	40
4	湖西市	-	スギ	430	20
5		-	スギ	355	15
6		-	スダジイ	349	15
7		-	スダジイ	370	15
8		-	クスノキ	390	17
9		-	クスノキ	409	15
10		-	ケヤキ	320	13
11		-	イチイガシ	319	15
12		-	ホルトノキ	300	13
13		-	イチイガシ	319	10
14		-	イチイガシ	326	13
15		-	クロガネモチ	320	15
16		-	タブノキ	334	15
17		-	ホルトノキ	326	15
18		-	イヌマキ	317	15
19		-	クスノキ	330	15
20		-	イヌマキ	300	18
21		-	ツブラジイ	365	13
22		-	ダイオウショウ	202	17

注) 地点番号は図4-1-26に対応する。

出典: 「第4回自然環境保全基礎調査自然環境情報図」(平成7年、環境庁)

「第6回自然環境保全基礎調査巨樹・巨木林フォローアップ調査報告書」(平成13年3月、環境省自然環境局生物多様性センター)



出典：「第4回自然環境保全基礎調査自然環境情報図」（平成7年、環境庁）
「第6回自然環境保全基礎調査巨樹・巨木林フォローアップ調査報告書」（平成13年3月、環境省自然環境局生物多様性センター）

図 4-1-26 巨樹・巨木林位置図

文化財指定されている樹木等(天然記念物)

調査区域では、天然記念物(植物)として表 4-1-54 に示す 3 件が確認されています。
確認位置は図 4-1-27 に示すとおりです。

事業実施区域においては、「玉洞寺のサザンカ」「トキワマンサク北限群生地」の 2 件の天然記念物が存在します。

表 4-1-54 植物に係る天然記念物

No	市	指定	名称	所在地	指定年月日
1	浜松市	県	鶴代のマンサク群落	浜松市浜名区 三ヶ日町鶴代	昭和 46 年 8 月 3 日
2		市	玉洞寺のサザンカ	浜松市浜名区 三ヶ日町上尾 奈 589	平成 8 年 4 月 19 日
3	湖西市	県	トキワマンサク北限群生地	湖西市神座 242	昭和 52 年 12 月 20 日

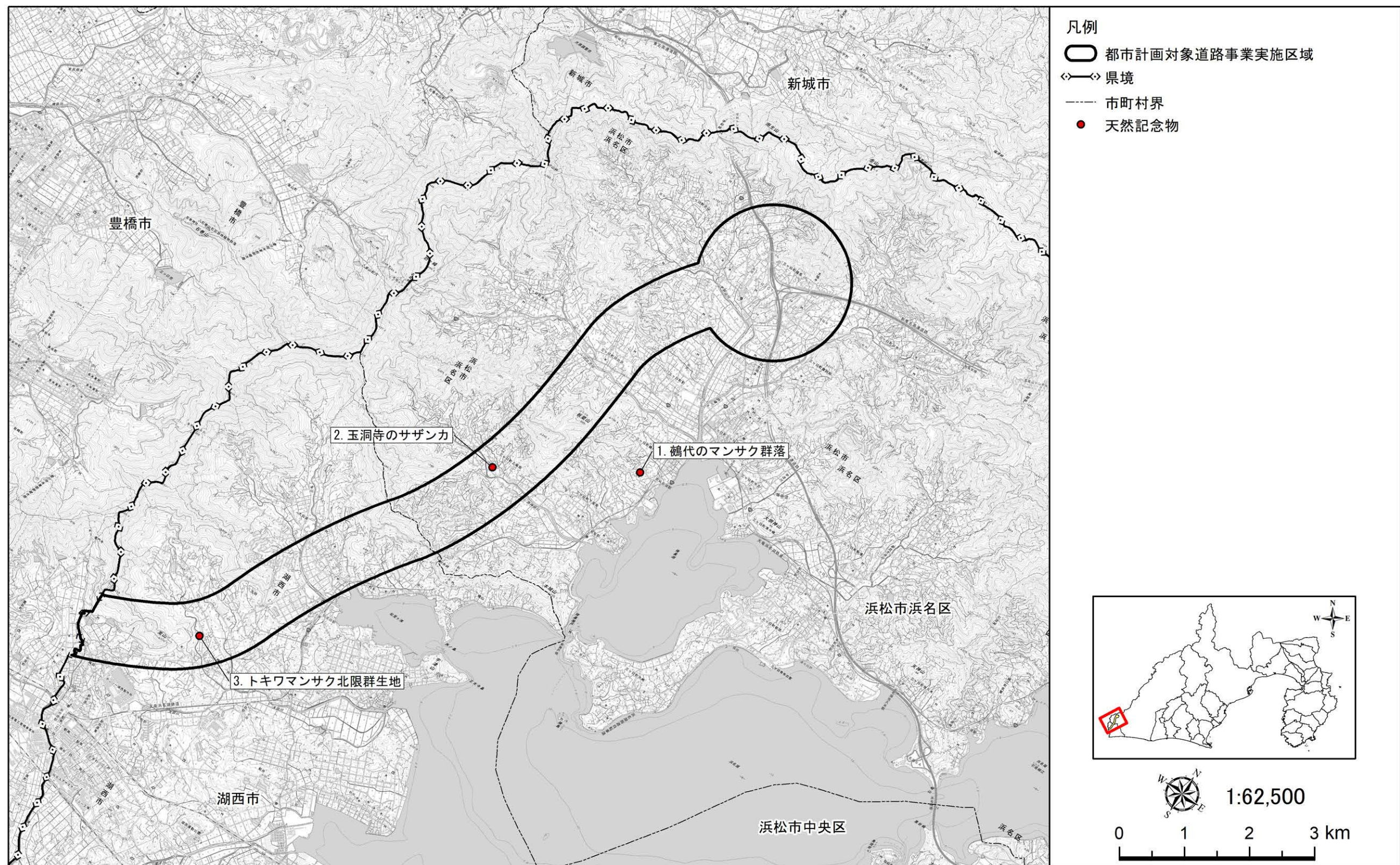
注) 地点番号は図4-1-27に対応する。

出典:「はままつ文化財」(浜松市ホームページ)

「浜松市文化財分布地図」(平成 30 年 10 月、浜松市教育委員会)

「湖西市文化財案内マップ」(湖西市教育委員会)

「しずおか文化財ナビ」(静岡県ホームページ)



出典：「はままつ文化財」(浜松市ホームページ)、「浜松市文化財分布地図」(平成30年10月、浜松市教育委員会)、「湖西市文化財案内マップ」(湖西市教育委員会)、「しずおか文化財ナビ」(静岡県ホームページ)

図 4-1-27 文化財指定されている樹木・生育地等(天然記念物)位置図

(4) 生態系の状況

1) 自然環境の類型化

事業実施区域及びその周囲は、奥浜名湖をとりまく山地・丘陵地となっており、果樹園や植林地、二次林等が広がっています。

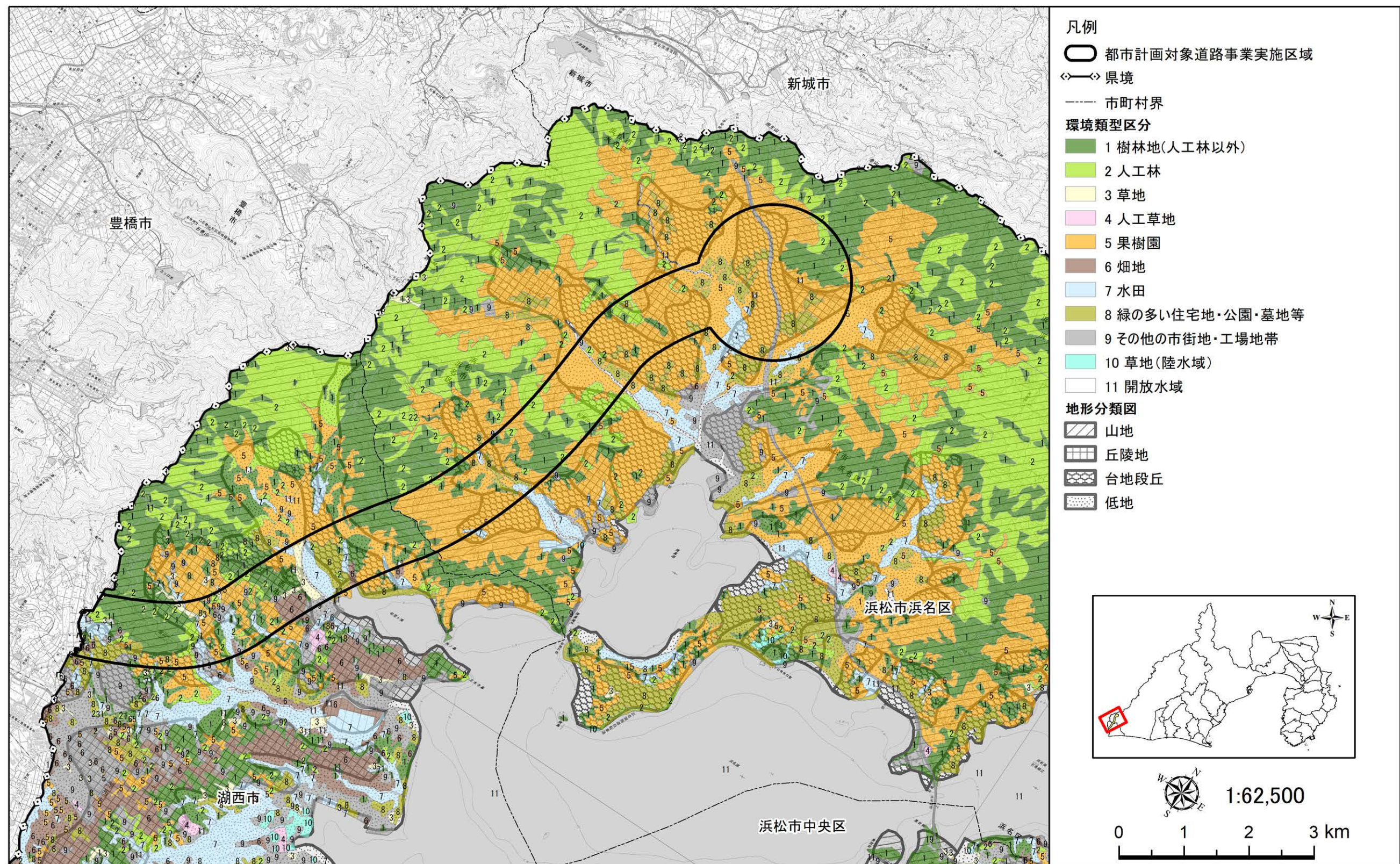
事業実施区域周辺の植生や土地利用の現況を踏まえた自然環境区分を表 4-1-55 のとおり類型化しました。自然環境類型区分図を図 4-1-28 に、代表的な箇所における自然環境類型区分の横断模式図を図 4-1-29 に示します。

地形については、静岡県と愛知県の県境付近の弓張山地一帯の「山地」、その周囲の山裾に広がる「丘陵地」、「台地段丘」、浜名湖に注ぐ河川周辺の「低地」の 4 つに区分されます。

植生については、弓張山地を中心に樹林地（人工林以外）、人工林、果樹園等が主に見られ、河川周辺には畑地、草地、水田等が、浜名湖湖岸や調査区域南側の湖西市では、その他の市街地・工場地帯が見られます。

表 4-1-55 自然環境の類型区分の概況

No	地形区分	植生の類型区分	植生区分
1	山地	樹林地（人工林以外）	ミミズバイ - スダジイ群集 タブノキ - ヤブニッケイ二次林 コナラ群落（ ） アカメガシワ - カラスザンショウ群落 アカマツ群落（ ） 低木群落 ヒロハドウダンツツジ - アカマツ群落 など
2		人工林	スギ・ヒノキ・サワラ植林 クスノキ植林 など
3		果樹園	果樹園 常緑果樹園
4	丘陵地	人工草地	ゴルフ場・芝地 牧草地
5		畑地	畑雑草群落 放棄畑雑草群落
6	台地段丘	緑の多い住宅地・公園・墓地等	緑の多い住宅地 残存・植栽樹群をもった公園、墓地等
7	低地	その他の市街地・工場地帯	市街地 工場地帯 造成地
8		草地	ススキ群団（ ） 路傍・空地雑草群落 など
9		水田	水田雑草群落 放棄水田雑草群落
10	-	草地（陸水域）	ツルヨシ群集 など
11		開放水域	開放水域



注1) 「第6回自然環境保全基礎調査植生調査」、「第7回自然環境保全基礎調査植生調査」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ)及び「20万分の1都道府県土地分類基本調査 地形分類図」(国土交通省国土政策局国土情報課 GIS ホームページ)を基に作成。

図 4-1-28 自然環境類型区分

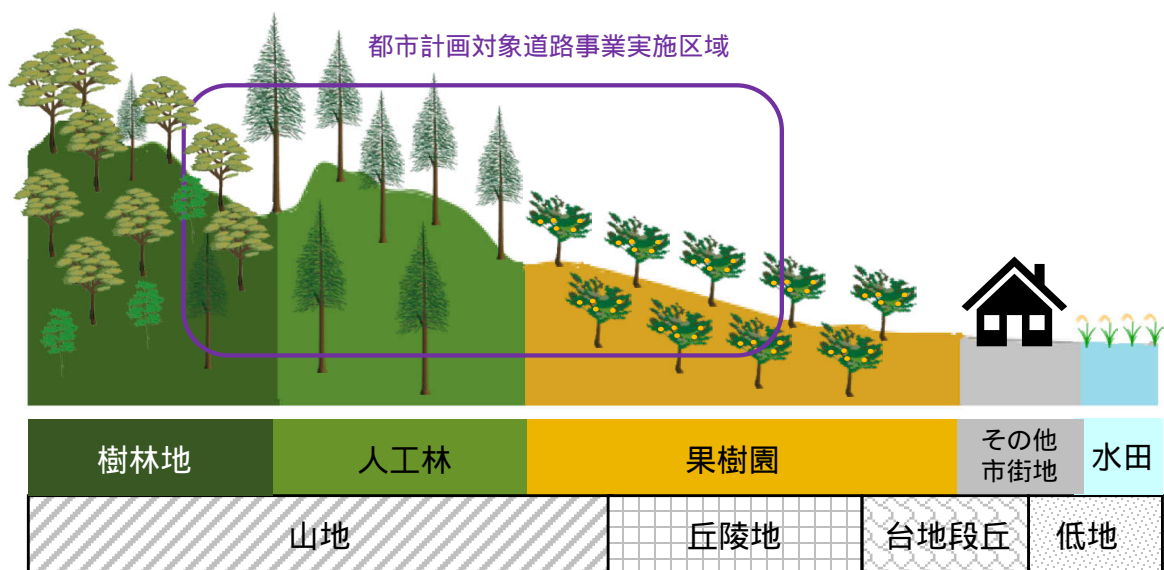


図 4-1-29 代表的な箇所における自然環境類型区分の横断模式図

2) 生態系エリア

自然環境類型区分図と地形を参考に、調査区域における生態系エリアを表 4-1-56 のとおり区分しました。生態系エリア区分図を図 4-1-30 に示します。

生態系区分は、静岡県・愛知県県境の弓張山地一帯を中心とした「山地 - 樹林主体の生態系」、弓張山地山麓から丘陵地に広がる果樹園を中心とした「山地・丘陵地 - 果樹園の生態系」、河川周辺の水田を中心とした「低地・台地 - 里山の生態系」、湖西市南部の台地段丘を中心とした「低地・台地 - 耕作地の生態系」及び浜名湖を中心とした「汽水域の生態系」の 5 区分となりました。

これらのうち事業実施区域が通過する 4 つの生態系エリアについて、注目すべき種を抽出することとしました。

表 4-1-56 生態系エリアの区分の概況

No	生態系区分	注目種の選定対象
	山地 - 樹林主体の生態系	○
	山地・丘陵地 - 果樹園の生態系	○
	低地・台地 - 里山の生態系	○
	低地・台地 - 耕作地の生態系	○
	汽水域の生態系	×

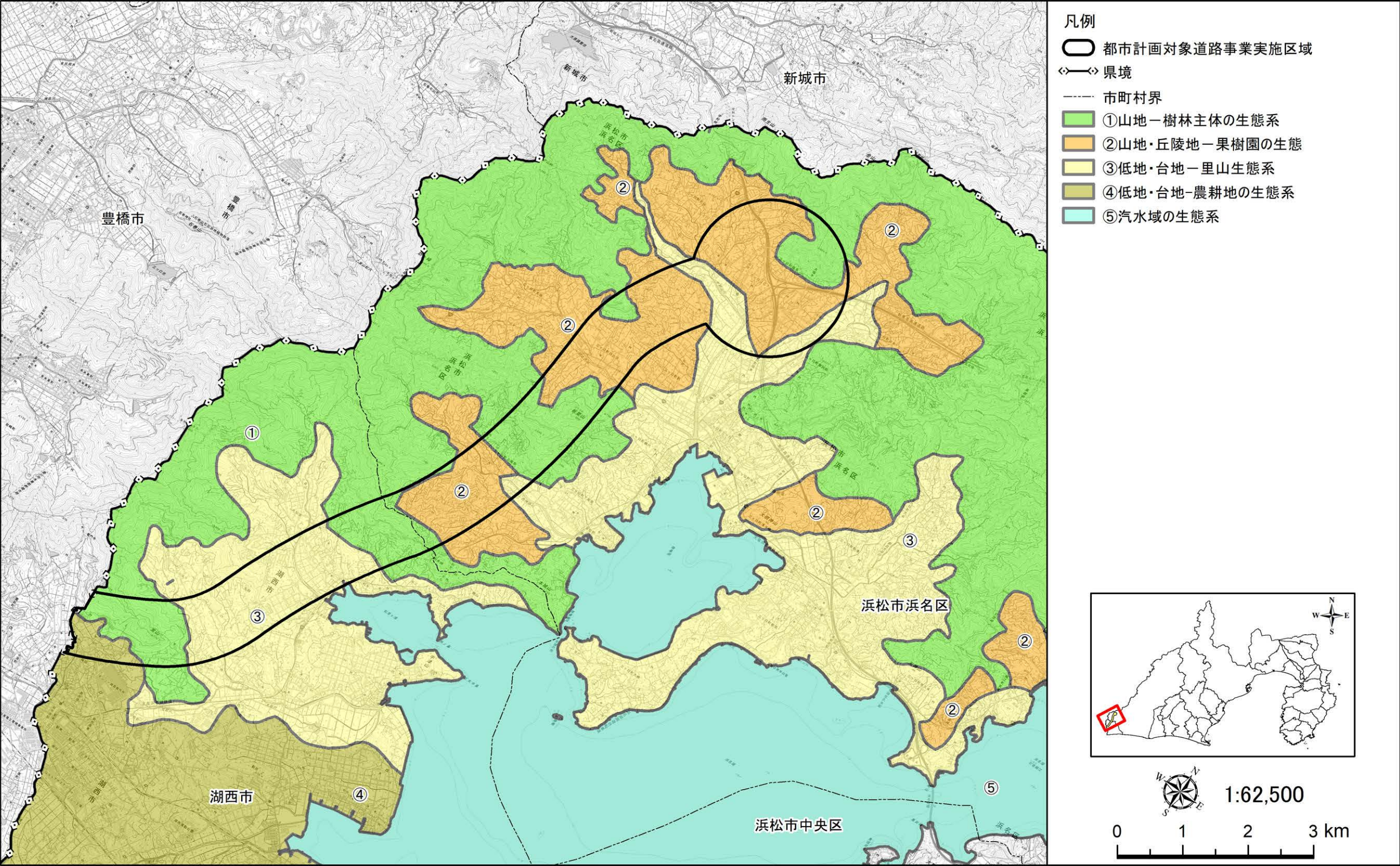


図 4-1-30 生態系エリア区分図

3) 主な動物相・植物相の状況

自然環境の生態系区分を基に、調査区域に生息又は生育が想定される代表的な動植物を表 4-1-57 に示します。

表 4-1-57 自然環境の類型区分と生息・生育が想定される動植物

生態系区分	主な生息・生育基盤	主な動物種	主な植物種
山地・樹林主体	・ミミズバイ - スダジイ群集 ・タブノキ-ヤブニッケイ二次林 ・アカメガシワ-カラスザンショウ群落	アズマモグラ、ニホンリス、ノウサギ、ホンドヒメネズミ、 <u>ホンドアカネズミ</u> 、 <u>ホンドタヌキ</u> 、 <u>ホンドキツネ</u> 、ニホンアナグマ、 <u>テン</u> 、ニホンイノシシ、ニホンジカ、カモシカ、 <u>オオタカ</u> 、ノスリ、ハチクマ、 <u>ヤマガラ</u> 、 <u>シジュウカラ</u> 、サンコウチョウ、オオルリ、 <u>ホオジロ</u> 、ヒガシニホントカゲ、タカチホヘビ、ジムグリ、シロマダラ、アカハライモリ、アズマヒキガエル、ネバタゴガエル、ヤマアカガエル、トウカイナガレホトケドジョウ、カジカ、オニヤンマ、エゾゼミ、アブラゼミ、 <u>モンキアゲハ</u> 、ジャノメチョウ、コムラサキ、ミスジチョウ、 <u>ミドリシジミ</u> 、 <u>ウラゴマダラシジミ</u> 、カブトムシ、 <u>ノコギリクワガタ</u> 、コガネグモ、キノボリタテグモ、ヤマキサゴ、ヤマタニシ	タブノキ、スダジイ、コナラ、ヒサカキ、モミ、アカマツ、スギ、ヒノキ、キンラン、ヒメカンアオイ、ウツギ、ガマズミ、ヤマハツカ、ヤマツツジ、ヤマウルシ、 <u>ヌマガヤ</u> 、 <u>ミカワバイケイソウ</u> 等
山地・丘陵地 - 果樹園	・果樹園	アズマモグラ、ノウサギ、ホンドアカネズミ、 <u>ハタネズミ</u> 、 <u>ホンドタヌキ</u> 、 <u>ホンドキツネ</u> 、 <u>テン</u> 、ニホンイノシシ、 <u>オオタカ</u> 、フクロウ、コゲラ、 <u>ヤマガラ</u> 、 <u>シジュウカラ</u> 、モズ、 <u>ホオジロ</u> 、 <u>ニホンカナヘビ</u> 、 <u>ヒガシニホントカゲ</u> 、シマヘビ、アオダイショウ、ヤマカガシ、アズマヒキガエル、ニホンアマガエル、オイカワ、カワムツ、シマヨシノボリ、アブラゼミ、 <u>アゲハ</u> 、 <u>モンキアゲハ</u> 、 <u>イチモンジセセリ</u> 、 <u>カラスアゲハ</u> 、サトキマダラヒカゲ、 <u>シオカラトンボ</u> 、クロスズメバチ、オニグモ、ゴミグモ、ナミコギセル、ニッポンマイマイ	ミカン、サンショウ、モウソウチク、カヤ、スギ、ヒノキ、ヤマノイモ、ヒガンバナ、フキ、タラノキ、ノアザミ
低地・台地 - 里山	・水田雑草群落 ・畑雑草群落 ・緑の多い住宅地	アズマモグラ、 <u>ハタネズミ</u> 、 <u>ホンドタヌキ</u> 、 <u>ホンドキツネ</u> 、 <u>テン</u> 、 <u>オオタカ</u> 、ゴイサギ、チュウサギ、 <u>ダイサギ</u> 、 <u>アオサギ</u> 、コサギ、カルガモ、 <u>ヤマガラ</u> 、 <u>シジュウカラ</u> 、スズメ、ムクドリ、 <u>ホオジロ</u> 、 <u>ニホンカナヘビ</u> 、 <u>ヒガシニホントカゲ</u> 、アオダイショウ、シマヘビ、アズマヒキガエル、ニホンアマガエル、トノサマガエル、ヌマガエル、 <u>オイカワ</u> 、カワムツ、ウナギ、マハゼ、 <u>アゲハ</u> 、 <u>モンキアゲハ</u> 、 <u>イチモンジセセリ</u> 、 <u>ゲンジボタル</u> 、 <u>シオカラトンボ</u> 、オオカマキリ、アオマツムシ、ショウリョウバッタ、ツチイナゴ、ヤマトシジミ、スジグロシロチョウ、キアシナガバチ、ジグモ、オニグモ、オオタニシ	ジュズダマ、シナダレスズメガヤ、ヤブガラシ、クズ、コナギ、イタドリ、ツククサ、ヒルガオ、セイヨウタンポポ
低地・台地 - 耕作地の生態系		アズマモグラ、 <u>ハタネズミ</u> 、 <u>ホンドタヌキ</u> 、 <u>ホンドキツネ</u> 、 <u>テン</u> 、 <u>オオタカ</u> 、チュウサギ、 <u>ダイサギ</u> 、 <u>アオサギ</u> 、コサギ、カルガモ、スズメ、ムクドリ、 <u>ホオジロ</u> 、 <u>ニホンカナヘビ</u> 、 <u>ヒガシニホントカゲ</u> 、アオダイショウ、ニホンアマガエル、 <u>オイカワ</u> 、マハゼ、トノサマガエル、 <u>アゲハ</u> 、 <u>モンキアゲハ</u> 、 <u>イチモンジセセリ</u> 、 <u>シオカラトンボ</u> 、オオカマキリ、アオマツムシ、ショウリョウバッタ、ツチイナゴ、ジグモ、オニグモ、オオタニシ	ヤブガラシ、クズ、コナギ、イタドリ、ツククサ、ヒルガオ、セイヨウタンポポ
汽水域	・開放水面	マガモ、カイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、ニホンウナギ、オイカワ、ボラ、スズキ、マハゼ、ヒメハゼ、ヒヌマイトトンボ、イボキサゴ、ウミニナ、ムラサキイガイ、ヤマトヌマエビ、モクズガニ、ヤマトオサガニ	シバナ、コアマモ、アマモ、シオクグ、マコモ、ウラギク

注) 下線は注目すべき種・群集を示す。

4) 注目すべき種・群集の候補の抽出

調査区域に生息・生育すると想定される動植物のうち上位性、典型性、特殊性の視点から注目される動植物の種または生物群集（以下、「注目種・群集」とします。）を抽出しました。

注目種・群集の抽出視点は、表 4-1-58 に示すとおりです。

自然環境の類型区分に従って選定した注目種を表 4-1-59 に示します。

表 4-1-58 注目種・群集の抽出視点

抽出基準	注目種・群集の抽出視点
上位性	生態系の上位に位置する動物が対象となります。 上位性の視点から抽出される指標種・群集の例として、ワシ・タカ等の猛禽類やホンドキツネ、ツキノワグマ等の中・大型哺乳類等があげられます。
典型性	生態系の特徴を典型的に表す種が対象となります。 調査区域に優占する植物種または植物群落、それらを捕食する動物（一次消費者程度）、個体数が多い動物などが対象となります。
特殊性	生態系において特殊な環境であることを示す指標となる種が対象となります。 相対的に分布範囲が狭い環境、または質的に特殊な環境に生息・生育する動植物が対象となります。

表 4-1-59 地域の注目種・群集

No	区分	分類	種群・種名	生態系区分			
				山地―樹林主体	山地・丘陵地―果樹園	低地・台地―里山	低地・台地―耕作地の生態系
1	上位性	哺乳類	ホンドキツネ	●	●	●	●
2			テン	●	●	●	●
3		鳥類	オオタカ	●	●	●	●
4			サギ類 ダイサギ			●	●
5			アオサギ				
6	典型性	哺乳類	ホンドアカネズミ	●			
7			ホンドタヌキ	●	●	●	●
8			ハタネズミ		●	●	●
9		鳥類	カラ類 ヤマガラ	●	●	●	
10			シジュウカラ				
11			カルガモ			●	●
12			ホオジロ	●	●	●	●
13		両生類	ニホンアマガエル			●	●
14		爬虫類	ニホンカナヘビ		●	●	●
15			ヒガシニホントカゲ		●	●	●
16		魚類	オイカワ			●	●
17			マハゼ			●	●
18		昆虫類	アゲハ		●	●	●
19			モンキアゲハ	●	●	●	●
20			イチモンジセセリ		●	●	●
21			ゲンジボタル 成虫			●	
22			ゲンジボタル 幼虫				
23			シオカラトンボ 成虫		●	●	●
24			シオカラトンボ 幼虫				
25			ノコギリクワガタ	●			
26		ミドリシジミ類	ミドリシジミ	●			
27			ウラゴマダラシジミ	●			
28	特殊性	湿地性の植物	ヌマガヤ	●			
29		浜名湖沿岸の湧水湿地群落	ミカワバイケイソウ等	●			

1.6. 景観及び人と自然との触れ合いの活動の状況

(1) 景観の状況

1) 地域の景観特性

浜松市から湖西市にかけて弓張山地が広がっており、弓張山地の東側には浜名湖の眺望が得られます。また、湖西市には遠州灘の眺望が得られます。浜松市、湖西市内には里山が広がり、起伏のある自然景観が見られます。

弓張山地、浜名湖、遠州灘等の自然景観が地域の景観特性を構成する要素となっています。

2) 主要な眺望点及び景観資源

調査区域における主要な眺望点及び景観資源の分布状況は、表 4-1-60(1)～(2)及び図 4-1-31 に示すとおりです。

調査区域において、22 地点の眺望点及び 34 箇所の景観資源が確認されています。

表 4-1-60(1) 主要な眺望点及び景観資源

市	種別	No	名称	規定根拠
浜松市	眺望点	1	雨生山	C
		2	雨生山コース眺望点	C
		3	千頭峯城跡駐車場	E
		4	津島神社	E
		5	高山ふれあいの森展望台（みかんの丘景観展望所）	A
		6	奥浜名湖展望公園	C
		7	浜名湖佐久米駅	A
		8	浜名湖サービスエリア（恋人岬）	A
		9	沖の瀬御殿	A
		10	JA 三ヶ日ふれあい広場	E
		11	乎那の峯	A
		12	白山神社	E
		13	富士見岩	C
	景観資源	14	みかん畑	d
		15	開墾記念碑	d
		16	共開園記念碑	d
		17	大福寺庭園	a, d
		18	旧三ヶ日小学校大福寺分教場	d
		19	千頭峯城跡	d
		20	三ヶ日時計台	d
		21	摩訶耶寺庭園	a, d
		22	才の神宿場の景観	d
		23	奥平山振興会館	d
		24	山田弥右衛門家墓所	d
		25	三ヶ日のみかん樹園	d
		26	加藤権兵衛家墓所	d
		27	初生衣神社	d
		28	浜名惣社神明宮	d
		29	柑橘頌徳碑	d
		30	みかん工房(閉店 202205)	d
		31	浜松市立三ヶ日図書館とみかん畑	d
		32	三ヶ日町農協柑橘選果場	d
		33	三ヶ日町農協会館	d
		34	JA みっかび特産品直売所	d
		35	つづさき観光みかん直売所	d
		36	猪鼻湖	a, c
		37	寸座落雁	d
		38	館山秋月	d
		39	新穴	c
		40	開拓記念碑	d
		41	高平農園直売所	d
		42	マルウ外山農園	d
		43	みかん型観光トイレ	d
		44	カネカみかん狩り園	d
浜松市・湖西市	景観資源	45	浜名湖	a, c
		46	瀬戸夜雨	d

表 4-1-60(2) 主要な眺望点及び景観資源

市	種別	No	名称	規定根拠
湖西市	眺望点	47	宇津山城址	A
		48	大知波峠廃寺跡	C
		49	多米峠	B
		50	雨やどり岩	C
		51	神石山	C
		52	ラクダ岩	C
		53	仏岩	C
		54	神座古墳群	C
		55	嵩山	C
		56	浜名湖西岸の船が並ぶ景観	d
	景観資源			

注1) 地点番号は図4-1-31に対応する。

注2) 「主要な眺望点」とは、「不特定かつ多数のものが利用している景観資源を眺望する場所」を指し、以下を抽出の基準としている。

A：地形図及び地方公共団体等の観光便覧等の資料に展望地、展望台としてあげられているもの

B：地形図に記載されている峠で、眺望の良い場所

C：キャンプ場、ハイキングコース、自然歩道等の野外レクリエーション地で眺望の良い場所

D：観光道路（○○ライン等）上で眺望の良い場所

E：集落周辺の眺望の良い場所、寺社等地域に密接した眺望の良い場所

F：文化財保護法、条例で指定された自然的構成要素と一体をなす名勝のうち展望地点として指定されるもの

G：自治体への聞き取りによる眺望点

注3) 「主要な景観資源」は以下の抽出基準により抽出した。

a：文化財保護法、条例で指定された自然的構成要素と一体をなす名勝

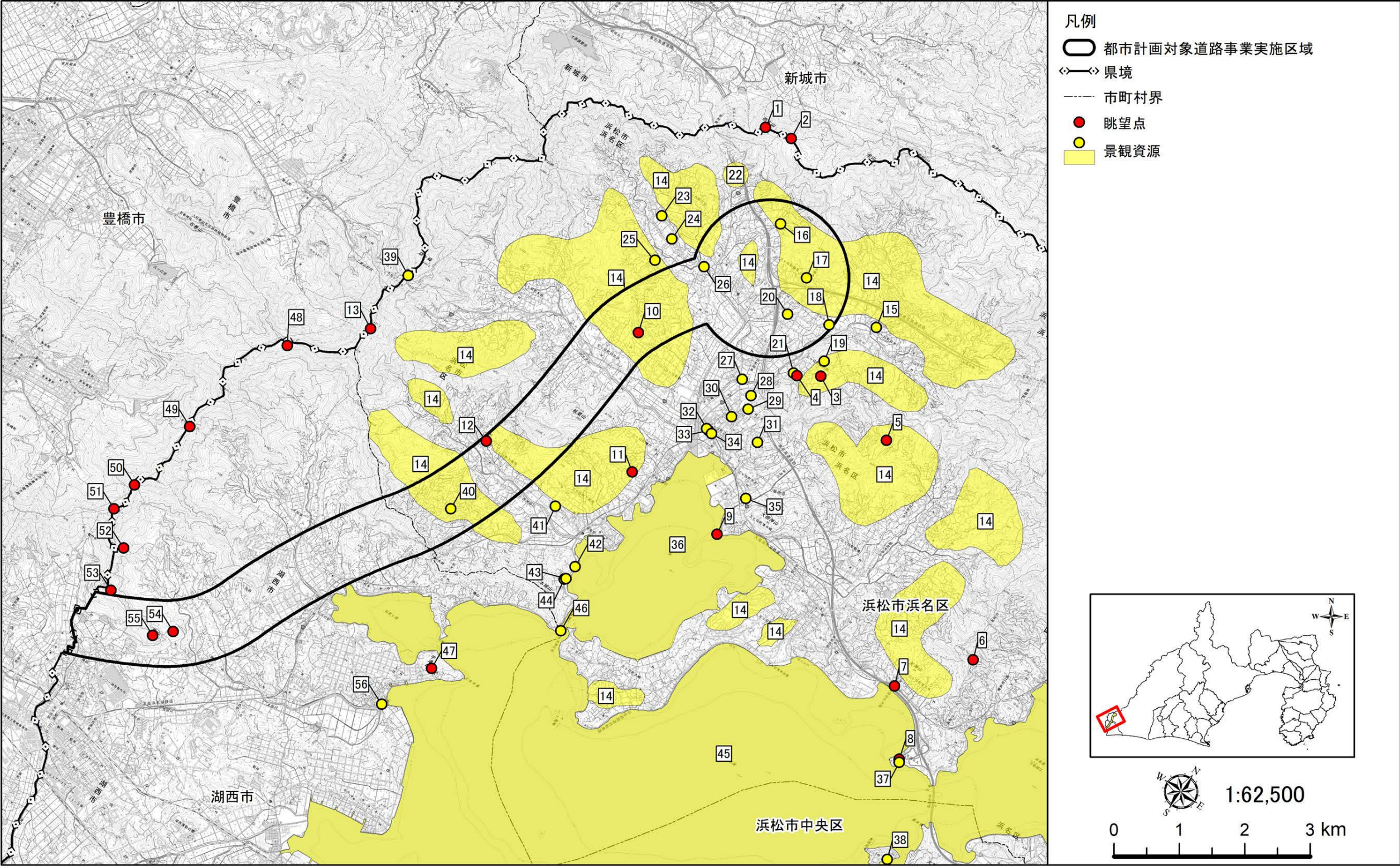
b：世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約（世界遺産条約）で登録されている文化遺産及び自然遺産

c：「第3回自然環境保全基礎調査自然景観資源調査報告書」（環境庁）で選定されている景観資源

d：地方公共団体の条例で指定されている自然景観資源、市町村要覧・観光関連資料・地方公共団体により選定された景観100選等で記載されている自然景観資源

e：「文化財保護法」で選定された重要文化的景観を構成する自然景観資源

出典：「雨生山ふしぎ発見コース」（新城市産業・立地部観光課）、「北区直虎ビューポイント」（浜松市ホームページ）、「奥浜名自然休養林 奥浜名自然歩道ハイキングガイド」（浜松市ホームページ）、「スポット 自然を浴びる・歴史を訪ねる」（三ヶ日観光協会ホームページ）、「湖西連峰ハイキングマップ」（湖西・新居観光協会ホームページ）、「浜松市歴史的風致維持向上計画」（令和4年3月、浜松市）、「しずおか文化財ナビ 名勝」（第1回～第20回（昭和63年度～平成19年度）都市景観賞受賞地区）（静岡県ホームページ）、「遠江八景」（平成26年3月、静岡県文化・観光部 交流政策課）令和5年度 浜松地域遺産（浜松市認定文化財）の概要（浜松市地域遺産センター・浜松市文化財課）、「静岡県の文化財調査報告書 第72集 静岡県の文化的景観総合調査報告書」（静岡県スポーツ・文化観光部文化局文化財課）、「第3回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図」（平成元年、環境庁）、「全国旅行情報サイト JAPAN 47 GO」（日本観光振興協会ホームページ）、「湖西市ガイドマップ」（湖西・新居観光協会ホームページ）その他現地踏査により視対象の眺望が確認できた箇所



出典：「雨生山ふしぎ発見コース」(新城市産業・立地部観光課)、「北区直虎ビューポイント」(浜松市ホームページ)、「奥浜名自然休養林 奥浜名自然歩道ハイキングガイド」(浜松市ホームページ)、「スポット 自然を浴びる・歴史を訪ねる」(三ヶ日観光協会ホームページ)、「湖西連峰ハイキングマップ」(湖西・新居観光協会ホームページ)、「浜松市歴史的風致維持向上計画」(令和4年3月、浜松市)、「しずおか文化財ナビ 名勝」、「第1回～第20回(昭和63年度～平成19年度)都市景観賞受賞地区」(静岡県ホームページ)、「遠江八景」(平成26年3月、静岡県文化・観光部 交流政策課) 令和5年度 浜松地域遺産(浜松市認定文化財)の概要(浜松市地域遺産センター・浜松市文化財課)、静岡県の文化財調査報告書 第72集「静岡県の文化的景観総合調査報告書」(静岡県スポーツ・文化観光部文化局文化財課)、「第3回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図」(平成元年、環境庁) 全国旅行情報サイト「JAPAN 47 GO」(日本観光振興協会ホームページ)、その他現地踏査により視対象の眺望が確認できた箇所

事業実施区域内の眺望点・景観資源の名称					
No.	名称	No.	名称	No.	名称
10	JA 三ヶ日ふれあい広場	17	大福寺庭園	40	開拓記念碑
12	白山神社	18	旧三ヶ日小学校大福寺分教場	45	浜名湖
14	みかん畑	20	三ヶ日時計台	54	神座古墳群
16	共開園記念碑	26	加藤権兵衛家墓所	55	嵩山

図 4-1-31 主要な眺望点及び景観資源位置図

(2) 人と自然との触れ合いの活動の状況

調査区域の人と自然との触れ合いの活動の場は、表4-1-61(1)～(2)及び図4-1-32に示すとおりです。

調査区域において、19箇所の人と自然との触れ合いの活動の場が確認されています。

表 4-1-61(1) 人と自然との触れ合いの活動の場

No.	市	名称	概要
1	浜松市	奥浜名自然歩道 只木コース	奥浜名自然休養林内に整備されたハイキングコースの1つで、只木集落センター～富幕山までの約4.2kmのコース。コースの中間地点には浜松市指定史跡の幡教寺跡がある。富幕山は奥浜名自然休養林で一番高い山で、浜名湖や遠州灘、三河湾も眺望できる。富幕山では細江コースと合流している。
2		奥浜名自然歩道 細江コース	奥浜名自然休養林内に整備されたハイキングコースの1つで、細江公園～富幕山までの約4.7kmのコース。コースの途中にはおもかる大師や展望の優れた国民宿舎奥浜名湖、二三月峠等がある。尉ヶ峰から風越峠を経て、富幕山に到着する。尉ヶ峰では佐久米コースと合流している。
3		奥浜名自然歩道 佐久米コース	奥浜名自然休養林内に整備されたハイキングコースの1つで、天竜浜名湖鉄道浜名湖佐久米駅～尉ヶ峰までの約5.7kmのコース。コースの途中には浜名湖や遠州灘をはじめ、富士山、中央アルプス、伊豆半島、三河湾を望むことができる奥浜名湖展望公園や、東海道の脇街道である姫街道と交わる引佐峠、獅子落とし等の見所がある。尉ヶ峰では細江コースと合流している。
4		大谷不動滝	落差およそ6メートルの、二段に落ちる滝。傍の洞穴には不動明王が祀られている。
5		雨生山ふしぎ発見コース	雨生山は愛知県新城市と静岡県浜松市の境に位置しており、誰にでも登れる一般・家族向けの登山コース。低山ながら、浜名湖方面と豊橋方面の眺望をほしきままにできる。
6		大福寺	仁王寺や裏山の斜面を利用し全面に池を配した廻遊式の庭園、10月から2月まで咲く半蔵桜が見もの。
7		みかんの里農村公園	基幹作物として地域を支えている「三ヶ日みかん」を来訪者にPRする施設であり、みかんの丘景観展望所からは、みかん園と浜名湖の景観を眺めることができる。三ヶ日のみかん園は「新・浜松の自然100選」に選定されている。
8		乎那の峯	マンサクの群落と三ヶ日桜、万葉の歌碑がある。マンサク群落は「新・浜松の自然100選」に選定されている。春になると桜が咲き、自然を楽しみながら運動することができる。
9		大崎海水浴場	浜名湖北岸に面した海水浴場。
10		本坂峠のツバキ原生林	古道沿いに広がるヤブツバキ原生林です。樹齢200年を超えるものもあるといわれている。「新・浜松の自然100選」に選定されている。
11		浜名湖周遊自転車道	自転車の利用増大に対処して、自転車交通の安全を確保し、あわせて“心身の健全な発達に資すること”を目的とし昭和48年度より日本各地において「大規模自転車道」の整備が始められた。浜名湖周遊自転車道は、浜松市三ヶ日町三ヶ日から同市舞阪町弁天島に至る全長48.0kmの区間を東岸ルートとしている。
12		ハマイチコース	浜名湖畔を一周する約67.1kmのサイクリング基本コース。浜名湖を眺めながらサイクリングができる。コース周辺にはサイクリングのサポートショップやレンタサイクルのほか、サイクリストを歓迎する宿泊施設や飲食店等が多数ある。
13		ハマイチ・バイパスコース	浜名湖畔を一周する約51.1kmのサイクリングサブコース。湖の凹凸を一部ショートカットするコースであり、浜名湖のサイクリングコースで一番距離が短い。

表 4-1-61(2) 人と自然との触れ合いの活動の場

No.	市	名称	概要
14	湖西市	ハマイチ・ブルーコース	浜名湖畔を一周する約 71.1km のサイクリングサブコース。基本コースであるハマイチコースよりも湖西市側の湖岸近くを回るコースである。
15		ハマイチ・グリーンコース	浜名湖から湖西市を大きく回る約 82km のサイクリングサブコース。高低差が 105m と起伏のあるコースで、コース途中にある道の駅潮見坂からは遠州灘を望むことができる。
16		おちばの里親水公園	大知波登山口。サワガニやメダカが生息する今川上流部に位置し、澄み切った水が流れる親水公園として人気である。駐車場やトイレが整備され、ハイキングコースマップも設置されている。
17		湖西連峰ハイキングコース	湖西連峰は静岡県と愛知県の県境に南北に連なる低い山々で、ハイキングコースや浜名湖の好展望台として人気がある。コースの途中には嵩山、仏岩、ラクダ岩、雨宿り岩等の眺望点や、神座古墳群、大知波峠廃寺跡といった史跡、イヌツゲ群生林や不動の滝等の自然豊かな見所がある。愛知県側の自然歩道が多数合流している。
18		梅田親水公園	梅田登山口近くにある、山・田園・水辺を楽しむことができる親水公園。ハイカーの駐車場としてだけでなく、池の周りがある散策路は地元住民の散歩コースとしても利用されている。
19		トキワマンサクロード	天竜浜名湖鉄道天浜線「大森駅」から県の天然記念物である「トキワマンサク北限群生地」までを結んだ散策コース。

注) 地点番号は図4-1-32に対応する。

出典 : 「奥浜名自然休養林 奥浜名自然歩道ハイキングガイド」(浜松市ホームページ)

「スポット 自然を浴びる」(三ヶ日観光協会ホームページ)

「雨生山ふしぎ発見コース」(新城市ホームページ)

「浜松・浜名湖の旅サポートブック」(公益財団法人 浜松・浜名湖ツーリズムビューローホームページ)

「奥浜名湖」(農林水産省ホームページ)

「新・浜松の自然 100 選」決定について」(一般財団法人 浜松公園緑地協会ホームページ)

「周辺の自然」(静岡県立森林公園ホームページ)

「ゆうゆうサイクリングマップ」(静岡県ホームページ)

「浜名湖一周サイクリングハマイチ WEB」(公益財団法人 浜松・浜名湖ツーリズムビューローホームページ)

「湖西連峰ハイキングマップ」、「湖西市ガイドマップ」(湖西・新居観光協会ホームページ)
湖西市文化観光課聴き取り

「トキワマンサクロード駅周辺 MAP」(大森駅前案内看板)

1.7. 一般環境中の放射性物質の状況

調査区域において、放射性物質の測定は行われていません。

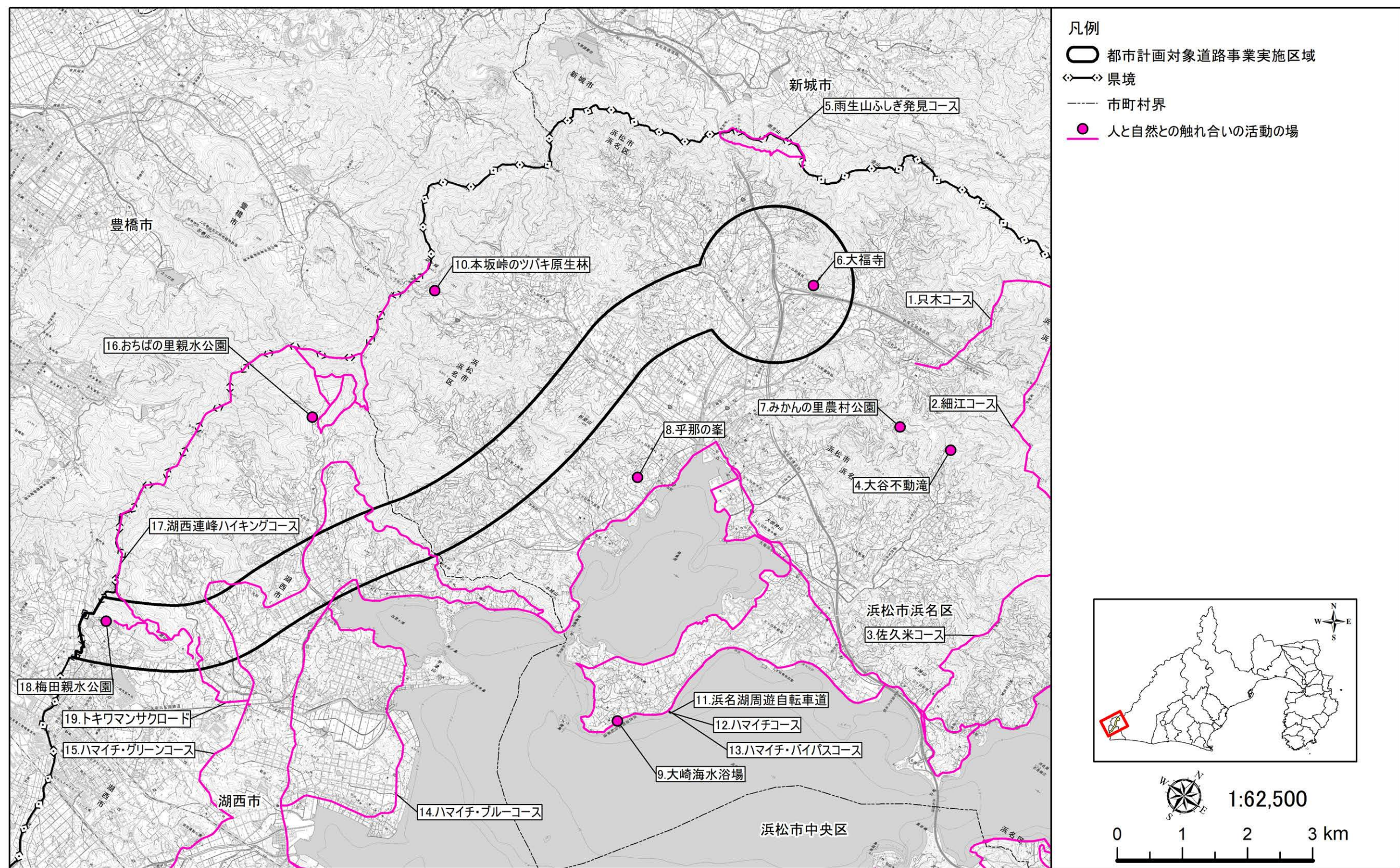


図 4-1-32 人と自然との触れ合いの活動の場位置図